



Hello!
I am MILO!



根拠ある試行錯誤

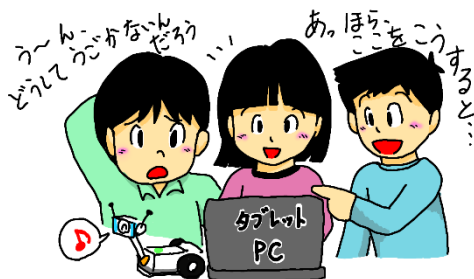
校長 川上 晋

6月からの学校再開、短い夏休みを経ての2学期。そして、多くの行事が中止になった中での運動会、汐入まつり。低学年の遠足、4、5年生の社会科見学。6年生も12月には国会議事堂の見学を含めた社会科見学に行きます。そんな2学期もあと1か月で終わりです。



さて、5月号でお話しましたが、今年度から小学校でのプログラミング教育が必修化されました。例えば、5年生の算数「正多角形」、6年生の理科「電気の利用」など、教科の中でいくつかの学年が行います。これに併せて、4年生(2学期)と5年生(3学期)の総合的な学習の時間でLEGO WeDo2.0というロボット教材を使って、「チャレンジ! プログラミング」という単元をつくり、実施しています。

学校教育の学習内容を定めた「小学校学習指導要領」には、「児童がプログラミングを体験しながら、コンピュータに意図した処理を行わせるために必要な論理的思考力を身に付けるための学習活動」を行うことと書かれています。それは、「プログラムを組む能力」ではなく、プログラミングを体験することで「論理的な考え方」を育てようということです。



私は、プログラミング教育の重要性は、「思ったとおりに動かせる」ではなく、「思ったとおりに動かない。だから、…」という、子供たちなりの当てずっぽうではない「根拠をもった試行錯誤」だと思っています。ここで学んだことは、すぐに生きてくるものではありません。

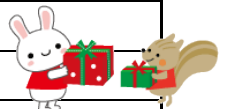
Society5.0(<https://youtu.be/249hXyODqwY>)を迎える変化が大きいこれからの時代、このコロナ禍でその変化は一層急激に進んでいます。このような時代に、「あ～でもない、こ～でもない。」と言いながら、人と協働で問題を解決する力を発揮できる人になってほしいと思います。

12月行事予定



() は学年 状況により中止等になる場合があります。

1日(火)	パワーアップ(補充学習)	15日(火)	たてわり班遊び
3日(木)	保護者会(4・5・6)パワーアップ	17日(木)	お楽しみ集会 クラブ
4日(金)	パワーアップ	21日(月)	パワーアップ
7日(月)	校内研究授業(1)	24日(木)	大掃除 給食最終
10日(木)	安全指導 音楽朝会 委員会	25日(金)	終業式
11日(金)	社会科見学(6)	冬季休業日 26日(土)～1月7日(木)	
12日(土)	土曜授業日(参観なし) 道徳授業地区公開講座(公開なし)	<ul style="list-style-type: none"> 予告なしの避難訓練があります。 1月のPTAによるもちつき会は、今年度は実施をしません。 	
14日(月)	区学力向上のための調査(1) iチェック(1～6)		





学年の窓 第5学年



汐入まつりを終えて

安井 亜希子

11月14日(土)に汐入まつりを行いました。今年度は、例年と同じようにはいきませんが、マスクの着用、手洗いの徹底、各クラスのお店ごとに消毒を置いて対策をしました。また、校舎内だけでなく、校庭や多目的・ランチルーム、図書館なども使用することで密にならないようにしました。どのお店も工夫を凝らしており、学年に合ったお店になっていました。

子供たちは、「みんなを楽しませたい。」という思いをもって、準備をしていました。汐入まつりを通して学んだことを、きっとこれからの学校生活に生かしていってくれることと思います。あと4か月で5年生は最高学年になります。学校を背負っていく立場になるからこそ、今回経験したことを力に変えて、さらに大きく輝いていくことを期待しています。



道徳授業地区公開講座について

道徳主任 山岸 幸枝

道徳が教科化されて、3年が経とうとしています。今年度から、毎学期の通知表にも道徳の評価が記載され、お子さんの学習状況がこれまでより伝わっていくことと思います。

今年度の道徳授業地区公開講座は、公開はありませんが、12月12日の土曜授業日に実施します。

全学級「親切、思いやり・友情、信頼」といった内容で道徳の授業を行います。

5・6年生は、シンガーソングライターのつちよさんを講師としてお招きし、講演会にも参加します。

ぜひご家庭でも、道徳の学習について話題にいただければ幸いです。



校内研究

研究主任 山田敦子

研究主題『自ら課題を見付け解決する児童の育成』
～「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業づくり～

上記の研究主題を設定し、主体的に学び活動する児童を育てるために平成28年度から研究を進めています。

今年度は協働的な学び、考えを深めさせる学習活動を工夫した授業づくりを重点に取り組んでいます。友達と関わりながら自分の考えをもったり、伝えたり、さらに自分の考えを深められたりできるように、ソーシャルディスタンスを保ちながらの授業づくりを工夫しています。



子供たちが、「分かった」「できた」「楽しい」と実感できるように、授業力向上に努めて参ります。